騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等								
② 発生源での騒音レベル					m	m	m	m
				ベル	d B	d B	d B	d B
	$^{\odot}$							
騒音対策による減衰値	音	源	対	策				
	\mathbb{C}				m	m	m	m
	距	離	減	衰	d B	d B	d B	d B
	0							
	建	屋	減	衰				
	Ē							
	防	音	壁	等				
	Ē,							
	合	B+©)+()	計 +臣				
⑥敷地境界線での								
騒音レベル予測 ②-①								
添付図面に記載した敷地								
境界線上の記号又は番号								
防音対策の具体的内容					□距離	□距離	□距離	□距離
					□建屋	□建屋	□建屋	□建屋
				勺容	山その他 ()	□その他 ()	□その他 (□その他 ()
施	設の	使	用時	:間	時 分~ 時 分	時 分~ 時 分	時 分~ 時 分	時 分~ 時 分
当該事業所に適用される					【午前8時から	<u> </u>	干前8時まで及び	【午後11時から
規 制 基 準 値			値	午後6時まで】		F後11時まで】	午前6時まで】	
(d Bd Bd B			
添	付	対 図 面 施設等の位置及びその位置から敷地の境界線までの距離を示した図						